

知床五湖地区における取組の進捗状況

トピック

1. 知床五湖の利用のあり方協議会を3月23日に開催し、平成24年度から利用調整地区制度の期間延長とヒグマ活動期のルート変更のための利用適正化計画の一部改定を行った。
2. 3月23日、6月5日の2回、登録引率者審査部会を開催した。部会として新規登録引率者の今期養成研修の開始と、知床五湖ガイドツアー体験キャンペーンの実施を行った。
3. 5月10日から7月31日までのヒグマ活動期の期間が終了した。ツアー参加者は7,550名（引率者除く、速報値）と前年比3割増となった。
4. 知床五湖地上遊歩道におけるヒグマとの遭遇は、開園から9月30日の間で80回と過去最多。地上遊歩道の終日閉鎖は8月3日から9月7日の間で19日間となった。

1. 知床五湖利用適正化計画の改定（知床五湖の利用のあり方協議会）

平成24年3月23日に第26回知床五湖の利用のあり方協議会を開催した。

- ・平成24年より開園から5月9日までの期間を植生保護期の運用とするとともに、5月10日から7月31日までのヒグマ活動期における利用ルートを5つの湖すべてを巡り高架木道に接続するルートに変更することを盛り込んだ知床五湖利用適正化計画を改定した。
- ・平成23年度のモニタリング結果について発表が行われ、関係者間での共有を行った。

2. 新規登録引率者の養成他の実施（登録引率者審査部会）

平成24年3月23日、6月5日の計2回、知床五湖の利用のあり方協議会の部会である知床五湖登録引率者審査部会を開催し、その協議事項をもとに次の活動を実施した。

- ・新規登録引率者の養成を開始し、3名が来年度からの登録引率者資格取得に向けて研修実施中。地域協働型の育成法確立に向け、研修の講師を知床財団のヒグマ対策員や知床ガイド協議会所属ガイドが担い実施されている。
- ・6月24～26日の3日間、知床五湖登録引率者審査部会主催の知床五湖ガイドツアー体験キャンペーン実施を実施。知床五湖のガイドツアーの魅力を発信すると共に、利用機会の拡大と安全な利用との両立のための運用法検討のための一時的な利用枠拡大の実証試験を行った。

3. 知床五湖の新たな利用に関する主な広報活動（ウェルカム部会）

- ・平成24年9月21日～9月23日 JATA 旅博へブース出展（東京）
知床五湖の利用のあり方協議会として環境省、知床斜里町観光協会がブース出展し、3日間で約800部のパンフレットを配布する他、バーチャル知床ツアー（ガイドによる仮想ツアー）の実施等を行い知床五湖の歩き方や高架木道の特徴・みどころ等のPR活動を行った。

4. 知床五湖利用調整地区制度の運用状況

- ・5/10～7/31 ヒグマ活動期（83日間）の利用状況は次のとおり（利用者数は速報値）

立入組数 1,105組（前年度910組）

認定者数 8,655名（前年度6,519名）

ツアー参加者数 7,550名（前年度5,609名 34.6%増）

ヒグマ遭遇回数 58回（前年度27回 114.8%増）

中止回数 39回（前年度24回）

ツアー参加者の増加要因は、知床ガイド協議会による当日現地受付窓口の設置（期間中の当日受付者数1,144名-全ツアー参加者の15%）や企画型旅行商品での地上遊歩道利用が増えたこと等と考えられる。一方で本年度は遊歩道でのヒグマ遭遇が頻繁となり、ツアー中止回数が増加した。

- ・今夏は、知床世界自然遺産地域内の幌別・岩尾別地区（知床五湖を含むエリア）でのヒグマ目撃数が多く、知床五湖に至る道路沿い、知床五湖高架木道からのヒグマ目撃も連続し、知床五湖地上遊歩道におけるヒグマとの遭遇回数は、開園から9月30日の間で80回と過去最多となった。地上遊歩道においては8月3日から9月7日の間で計19日間、地上遊歩道が終日閉鎖となる等影響を受けた。

平成24年度知床五湖地上遊歩道におけるヒグマとの遭遇回数（開園から9月末まで）

4月 0回（H23 0回）

5月 2回（H23 2回）

6月 14回（H23 5回）

7月 43回（H23 19回）

8月 13回（H23 1回）

9月 8回（H23 0回）